

2016年度「食と農免疫合同講義」第5回特別講義を開催

2016年8月3日（水）13:30～15:00に東北大学大学院農学研究科（雨宮キャンパス）第2講義室において、Dr. Slamet Budijanto先生（Bogor Agricultural University, インドネシア）とDr. Ardiansyah先生（Universitas Bakrie, インドネシア）による「食と農免疫合同講義」（第5回特別講義）が実施されました。

両氏ともに、二国間交流事業・共同研究（日本学術振興会）により仙台に来訪されました。講義は、まずArdiansyah先生よりインドネシアの食品業界における健康食品開発の現状と今後の展望について丁寧な解説がありました。続いて、Budijanto先生よりインドネシアにおける生活習慣病の患者数の推移と、糖尿病や脂質代謝異常症に対して予防作用を有する機能性食品の開発（低グリセミックインデックス食品など）についての説明がありました。余剰デンプンに様々な機能性成分を添加して成型した「アナログライス」と呼ばれる加工品の健康機能性に関する興味深い内容の講義でした。両氏はともに本学博士課程に進学・修了して学位を取得した後に本国に戻られ教員として活躍されていますが、懐かしい雨宮キャンパスで講義を行うことができたことを大変うれしく思われたとのこと。仙台滞在中は、発酵米糠に関する共同研究の打ち合わせやインドネシア産の米糠発酵物の機能性評価を行いました。さらに、CFAIメンバーと食の安全性に関する最新の情報交換を行うなど、活発に活動されていました。



Budijanto先生



Ardiansyah先生